

製品名

LAG jet[®]
ラグジェット

P-206RW(ER)

ID:40VJ20600

特徴

- ・糊面に微細な凹凸やエア抜き溝を設けた屋外で長期間の使用に適したインクジェット用メディアです。
- ・寸法安定性に優れており、平面及び緩やかな二次曲面に追従します。
- ・エア抜き溝から気泡を排出するため、施工時間が短縮できます。
- ・隠蔽性のあるグレー粘着剤を使用しています。
- ・再剥離性能のある粘着剤を使用しているため、現状復帰が可能です。
- ・RoHS 2に対応しています。

用途

- ・屋外長期サイン用

規格

- ・1,370mm×30m

製品構成

構成	材質	詳細
表面基材	ポリ塩化ビニル	80μm/白色/グロス
粘着剤	アクリル系	強粘再剥離/グレー/エア抜き溝
剥離材	紙	両面ポリラミ上質紙

坪量：319.0g/m²（剥離材を含む）

粘着特性

試験項目	被着体	実測値	試験方法
粘着力 (N/25mm)	ステンレス	30分後	10.4
		24時間後	16.0
ボールタック(No.)	—	21	J.Dow法
保持力(sec.)	ステンレス	NC 30000*1)	リンテック法*2)

* 1) NC：ズレなし

* 2) リンテック法

【粘着力試験方法】

試験環境：23℃50%RH

試験機：ロードセル型引張試験機

被着体：ステンレス板（SUS304 #360番で研磨仕上げ）

貼付圧力：2kgゴムローラーで1往復

剥離角度：180°

剥離速度：300mm/min

【保持力試験方法】

試験環境：40℃

試験機：保持力試験機

被着体：ステンレス板（SUS304 #360番で研磨仕上げ）

貼付圧力：2kgゴムローラーで5往復

剥離角度：0°

静止荷重：9.8N



フィルム特性

試験項目		実測値
破断強度 (N/25mm)	MD	62
	CD	51
破断伸度 (%)	MD	217
	CD	226

材料組み合わせ例

用途別推奨ラミネートフィルム「LAGプロテクト」

《屋外・屋内サイン用途》(中期)

品番	基材	風合い	厚み(μm)	規格(mm×m)	UVカット	使用期間
G-000PV80	ポリ塩化ビニル	グロス	80	1,090×50 1,250×30 1,350×30	○	屋外中期用
M-001PV80	ポリ塩化ビニル	マット	80	1,090×50 1,250×30 1,350×30	○	屋外中期用

* 組み合わせのラミネートによっては耐候性、耐久性（使用期間）が低下する場合があります。

ご注意

- ・本資料に記載されている数値等は、弊社の試験結果に基づくものであり、保証するものではありません。
- ・実際の用途に適合した事前の検証をお願いします。
- ・購入後は1年以内に使用してください。開封後はなるべく早めにご使用ください。
- ・使用可能温度は-30℃～80℃です。
- ・本製品は熱、圧着などの影響により軟化する性質をもっているため、保管方法、保管環境によって表面の光沢感・マット感が変化することがあります。
- ・下記の保管方法をご確認ください。
- ・耐候性、耐久性、施工性の向上には適正なラミネートフィルムをご使用ください。
- ・突合せや同一面で使用される場合は、同一ロットをご使用ください。
- ・車、バス、鉄道など、部位によっては浮や剥がれ防止のため、エッジガードテープのご使用をお勧めします。
- ・特殊な用途にご使用の場合は、あらかじめご相談ください。

◇保管方法について

- ・保管される場合は、低温、高温、多湿を避け、必ず袋に入れて宙刷りにし、直射日光が当たらないようにしてください
- ・推奨環境は、温度10～30℃、湿度70%RH以下です。
- ・至近距離からの蛍光灯照射などは避けてください。
- ・水分、薬品などがつかないようにし、衝撃は避けてください。

◇出力・加工について

- ・メディアの出力面は直接手で触れないようにしてください。皮脂、油分、汚れ、傷などがプリント品質不良の原因となる場合があります。
- ・使用されるプリンターの種類やプリント条件により、出力品質に差が生じる場合があります。事前に確認されることをお勧めします。
- ・プリント後、インクが十分に乾燥するまではラミネート加工などの後加工を行わないでください。
インクの乾燥時間については各プリンターメーカーにお問い合わせください。
- ・ラミネートフィルムと組み合わせる場合、ラミネートフィルムの種類によっては色味が変わる場合があります。
色味を重視される出力品の場合には、ラミネート加工後の変化をあらかじめご確認ください。



◇施工について

- ・施工環境温度は10℃～35℃です。
- ・低温、高温条件下では、粘着力、保持力が低下し剥がれやすくなります。
- ・低温条件下では初期粘着力の低下や、製品が硬くなり割れやすくなる場合があります。
- ・高温条件下では初期粘着力の上昇や、製品が軟化する場合があります。
- ・水貼りでの施工は推奨しておりません。
- ・被着体の特性によっては十分な接着力が得られない場合や、浮きや剥がれが発生する場合がありますので必ず事前にご確認ください。
- ・貼り付け直後は十分な接着力が得られない場合があります。
- ・結露しやすい下地への施工は、十分な接着力が得られない場合があります。

被着体

	被着体	使用可否
プラスチック	PP (ポリプロピレン)	※ 1
	PE (ポリエチレン)	※ 1
	PVDF (フッ素)	※ 1
	ABS (アクリロニトリルブタジエンスチレンゴム)	○
	PET (ポリエチレンテレフタレート)	○
	FRP (繊維強化プラスチック)	○
	PMMA (アクリル板)	※ 2
	PC (ポリカーボネート)	※ 2
ガラス	PVC (ポリ塩化ビニル)	※ 3
	フロート	※ 4
	網入り	※ 4

	被着体	使用可否
金属	亜鉛メッキ鉄板	○
	塗装版	○
	アルミニウム	※ 1
	ステンレス	※ 5
その他	コンクリート	※ 6
	モルタル	※ 6
	スレート	※ 6
	ベニヤ板	※ 6
	テント地	※ 3

- ※ 1 十分な接着力が得られない場合があります。
 - ※ 2 アウトガス発生のため、膨れが生じる場合がありますので事前にご相談ください。
 - ※ 3 可塑剤、遊離成分などが含まれていますので浮き、剥がれ・糊残りなどは生じる場合があります。
 - ※ 4 熱割れが発生する可能性があります。
 - ※ 5 屋外に貼付した場合、条件によっては劣化する可能性がありますので事前にご相談ください。
 - ※ 6 基本的に前処理、プライマー処理が必要なため再剥離性が発現しない場合があります。
水分などのにじみ出し、粗面による密着不良が原因で浮き・剥がれを生じる恐れがあります。
- ※ 1～6 は条件によって異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

◇再剥離性能について

- ・再剥離粘着剤とは、一定期間後に剥がす用途に適している粘着剤です。
- ・再剥離性能は貼付期間や被着体の種類、使用環境により異なるため事前のテストをお勧めします。
- ・剥離作業の際は、出来るだけゆっくりとしたスピードで剥がしてください。
- ・低温条件下では、ドライヤーやジェットヒーターなどで適温に温めてから剥がしてください。

- * 製品についてご不明点などございましたら、お問い合わせください。
- * 本書は、本製品に関する製品情報を提供するものであり、性能や品質を保証するものではありません。
- * 製品の仕様および外観は予告なく変更させていただくことがあります。



LAG Japan.com

